



SOIKEN

株式会社 総医研ホールディングス

BUSINESS REPORT

第21期 報告書

平成26年7月1日から平成27年6月30日まで



イミダペプチドが機能性表示食品に

現代社会の
疲労への有用性に
期待!

「イミダペプチド」の機能性表示

本品にはイミダゾールジペプチドが含まれるので、日常生活で生じる身体的な疲労感を軽減する機能があります。身体的な疲労を自覚している方に適した食品です。



平成27年4月より、安全性および機能性に関する一定の科学的根拠に基づき、事業者の責任において届出制により食品に機能性を表示できる機能性表示食品制度が施行されました。健康補助食品事業を行う日本予防医薬株式会社では、主力商品である「イミダペプチド」(飲料)について機能性表示食品の届出を行い、同年6月に受理されました。これにより、「イミダペプチド」は、「日常生活で生じる身体的な疲労感を軽減する」という機能性を表示した我が国で初めての製品となりました。

イミダゾールジペプチドは、数千キロも飛び続ける渡り鳥の持続力の鍵であり、疲労プロジェクトにおいて効果が確認された抗疲労成分6種類の中でも特に顕著な効果が確認された成分です。機能性表示食品制度において認められる機能性に関する科学的根拠のうち、「最終製品によるヒト臨床試験」という最も信頼性の高い根拠により届出を行っており、安全性についても長期摂取時や過剰摂取時におけるヒト臨床試験を行って確認しています。

「イミダペプチドQ10」を発売

日本予防医薬は、平成27年5月、イミダゾールジペプチドと水溶性還元型コエンザイムQ10を配合した飲料「イミダペプチドQ10」を発売しました。この製品は、大阪市立大学の健康科学イノベーションセンターが運営し、抗疲労領域の研究者やメーカー等が参加する「“スーパーフード創出”事業化コンソーシアム」を通じて製品化されました。

コエンザイムQ10は身体のエネルギー産生に深く関わる成分であり、この製品では、吸収率が高く、体内でよ



り効率良く働く水溶性還元型コエンザイムQ10(株式会社カネカ製)を使用しています。

「さくら色LED照明」の販売を開始

日本予防医薬は、平成27年4月、シャープ株式会社の製品である「さくら色LED照明」の販売を開始しました(通販顧客向け限定販売)。「さくら色LED照明」は、通常の明かりに加えて「八重桜色」と「ソメイヨシノ色」のピンク色に調光でき、当社グループの株式会社総合医科学研究所が実施した臨床試験において、両色ともに疲労感の軽減や快適感の向上などが確認されるとともに、その作用機序として自律神経機能の調節作用が確認されました。また、同じく総合医科学研究所が行った臨床試験において、睡眠に対する効果(寝付きが早い、良く眠れる、目覚めが良い)も確認されました。



当期の業績と次期を見通しをご説明ください。

当期の連結売上高は、健康補助食品事業において「イミダペプチド」の販売が増加したことや、化粧品事業において主に海外部門の売上が伸びたこと等から前期比で約9%の増収となり、事業の拡大傾向を維持できたことは良かったと思います。



代表取締役社長

小池 真也

しかしながら、利益については、健康補助食品事業において疲労回復ニーズが高い夏場に広告宣伝費を集中的に投下したものの販売計画を下回ったことや、医薬臨床研究支援事業において売上原価等の費用が計画を超過したことを主因として減益となり、経常利益では黒字を計上できなかったが、営業利益と当期純利益は赤字を計上することとなりました。業績予想数値に対しても下回ることとなり、誠に心苦しく存じます。

次期につきましては、当期の減益要因を踏まえまして、健康補助食品事業の広告宣伝費投下の夏場への集中を緩和するとともに、医薬臨床研究支援事業の利益率の改善に注力する方針であり、当期比で増収および増益を見込んでおります。

機能性表示食品制度の寄与について、どのようにお考えでしょうか。

機能性表示食品は、製品に機能性を表示して販売できるものであり、エビデンス(科学的根拠)のデータも活用しやすくなりますので、より消費者に製品の特性を訴求できるようになります。また、機能性表示食品の届出では、有効性や

安全性に関するエビデンスのほか、品質管理体制等の様々な情報を消費者庁に提出する必要があり、それらの情報が消費者庁のホームページから公表されますので、製品の信頼性が高まり、付加価値の向上や差別化にもつながります。このようなことから、この度の「イミダペプチド」の機能性表示食品としてのリニューアルが、一層の販売拡大の契機となり得ると思っています。

一方、評価試験事業に関して、機能性表示食品の届出のためのデータ取得を目的とする臨床試験の受託の拡大が期待されます。これに関しましては、制度上、臨床試験ではなく研究レビューにより機能性を実証して届け出ることから、現時点では大きな変化は見られません。しかしながら、臨床試験による実証の方が研究レビューによる実証よりも機能性の表示において直接的な表現ができることもあり、今後、臨床試験の実施が増える可能性はあると考えています。

Beautyplus社との業務提携の狙いについてご説明ください。

化粧品事業を行う株式会社ビービーラボラトリーズで

は、従来は日本国内の通販が売上の大部分を占め、国内市場の伸び悩みや競争激化等により減収傾向が続いていました。

しかしながら、私が同社の社長を兼任した平成23年頃から、特に成長著しいアジア市場に注目して海外販売の強化に取り組んできました結果、当期には、海外販売を含む卸売部門の売上が通販部門の売上を上回るとともに、海外販売の拡大が寄与して増収に転ずることができました。

今後とも海外販売の拡大に注力する方針ですが、当社グループ単独では限界がありますので、販売力のある他社との提携は重要な施策になります。Beautyplus社は、中国市場において強い販売力を有するだけでなく、機能性やエビデンスを重視した商品開発をしており、当社グループとのシナジーが大きいと言えます。Beautyplus社との提携による中国市場での販売は、当社グループの業績に大きく寄与すると考えておりますので、株主の皆様にご報告ができるよう、引き続き注力してまいります。

グループ・セグメント概況

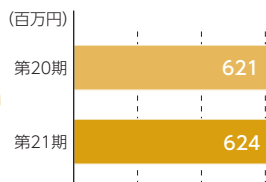
科学的根拠

“エビデンス”で暮らし、医療に貢献

当社グループは、大学発のバイオマーカー技術に基づく「エビデンス」の構築および活用に強みを有しており、国民の健康の維持および増進ならびに医療資源の効率的活用等に資する様々なサービスや商品を開発し、提供しています。



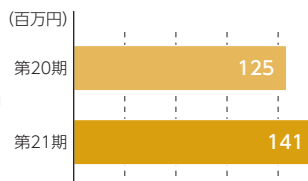
生体評価 システム 事業



売上高 **624**百万円(前期比0.5%増)

評価試験事業は受注の増加により増収となりましたが、医薬臨床研究支援事業は減収となりました。営業利益は、医薬臨床研究支援事業の人件費の増加等もあり前期比55.7%の減益となりました。

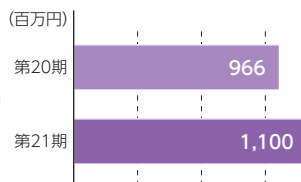
ヘルスケア サポート 事業



売上高 **141**百万円(前期比13.0%増)

契約健保数の増加等により増収となりましたが、人件費の増加を主因として若干の減益となりました。

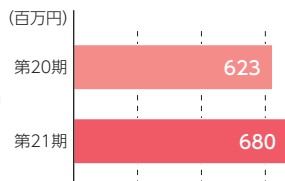
健康補助 食品事業



売上高 **1,100**百万円(前期比13.9%増)

「イミダペプチド」の販売の拡大傾向が続き、増収となりました。一方、夏場に集中して広告宣伝費を投下しましたが販売計画を下回ったため、費用回収が十分にできず前期比51.2%の減益となりました。

化粧品 事業



売上高 **680**百万円(前期比9.2%増)

海外販売の拡大により卸売部門の売上高が増加し、増収となりました。また、広告宣伝費等の費用を抑制して運営したこともあり前期比226.8%の増益となりました。

マーケティング 事業

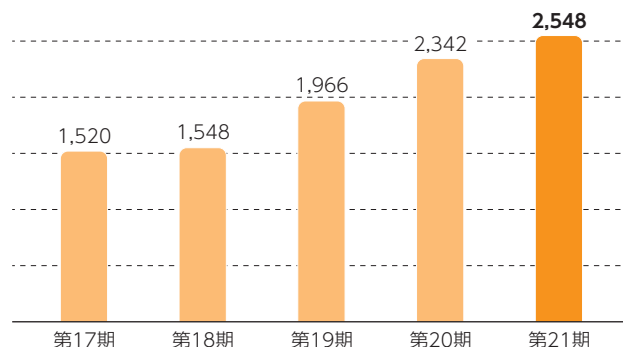
当期、前期ともに、売上はほぼありませんでした。

財務ハイライト

売上高

25億48百万円

(百万円)

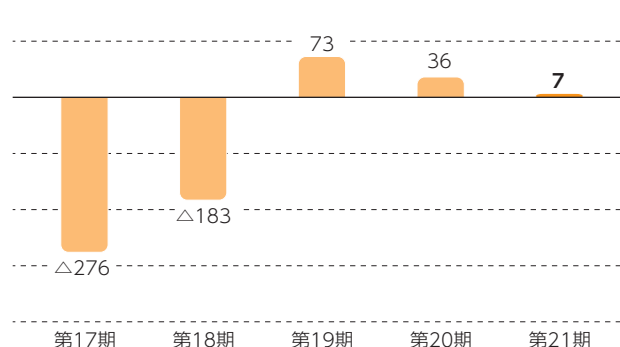


連結売上高は、健康補助食品事業において「イミダペプチド」の販売が増加したことや、化粧品事業において海外市場での販売が伸びたこと等から、前期比で増収となりました。

経常利益又は経常損失

7百万円

(百万円)



健康補助食品事業において夏場に広告宣伝費を集中的に投下したものの販売計画を下回ったために費用回収が十分にできなかったことや、医薬臨床研究支援事業の費用の増加等を主因として前期比で減益となりました。

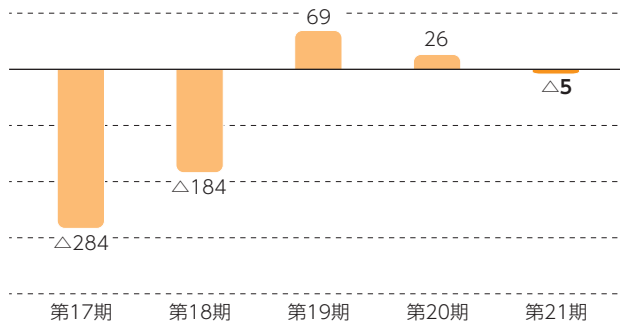
○キャッシュ・フロー指標

	第19期	第20期	第21期
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	86,363	△65,191	△71,883
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	210,199	△210,170	251,379
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,132	—	—
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	2,081,228	1,805,866	1,985,362

当期純利益又は純損失

△5 百万円

(百万円)



経常利益と同様の要因により、前期比で減益となりました。

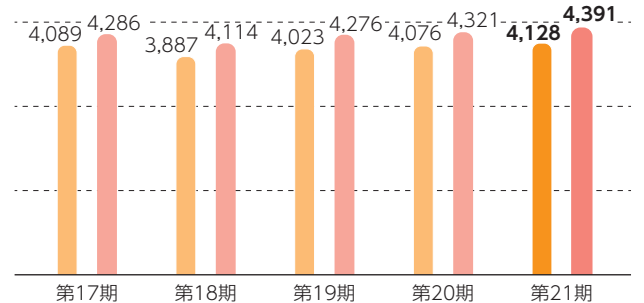
純資産・総資産

純資産 41 億 28 百万円

総資産 43 億 91 百万円

(百万円)

■ 純資産 ■ 総資産



総資産は売掛金の増加等により69百万円増加しました。純資産は其他有価証券評価差額金の増加等により51百万円増加しました。

○1株当たり指標ほか

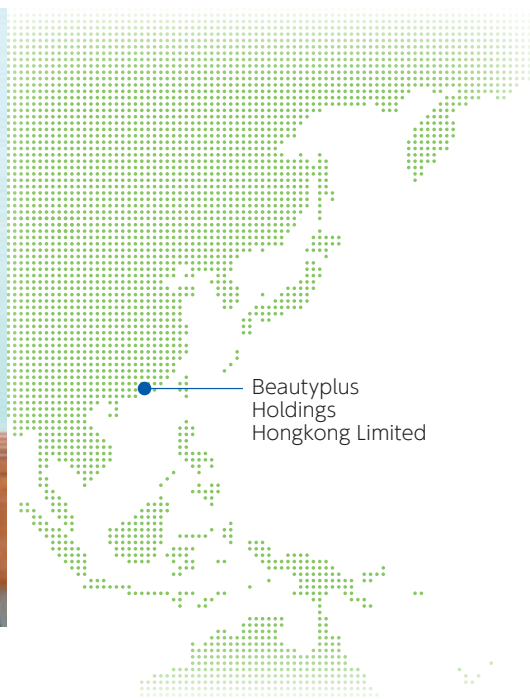
	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期
1株当たり当期純利益又は純損失 (円)	△1,092.46	△7.06	2.66	0.99	△0.21
1株当たり純資産 (円)	15,603.11	148.46	153.51	155.74	157.81
自己資本比率 (%)	95.0	94.1	93.9	94.3	94.0

※当社は平成25年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

そのため、第18期と第19期に関しては、第18期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり情報を掲載しております。



上海での調印式(向かって左がBeautyplus社張社長、右が当社小池社長)



中国の化粧品会社と資本業務提携を締結

当社は、平成27年5月、中国の化粧品会社であるBeautyplus Holdings Hongkong Limitedとの間で、化粧品事業の中国市場での販売強化等を目的として資本業務提携を締結しました。また、この提携を強固なものとするため、当社は、化粧品事業を行う子会社株式会社ビービーラボラトリーズ株式の一部をBeautyplus社に譲渡しました。

Beautyplus社は中国市場において知名度が高く、強い販売力を有しています。また、機能性やエビデンスを重視した製品開発を行っており、当社グループとのシナジー効果が期待できます。

この提携に基づき、ビービーラボラトリーズの既存製品についてBeautyplus社が主体となって中国国家食品薬品监督管理局(CFDA)より輸入許可を取得し、中国市場で販売するほか、ビービーラボラトリーズとBeautyplus社が共同で新たな製品やブランドを企画、開発し、中国市場および中国以外のアジア市場において展開することを想定しています。

会社概要

商号	株式会社総医研ホールディングス (英文社名：Soiken Holdings Inc.)
本社	〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号 千里ライフサイエンスセンター13階
設立	1994年7月26日
資本金	1,836百万円（2015年6月30日現在）

株式の状況（2015年6月30日現在）

発行可能株式総数	86,396,800株
発行済株式の総数	26,250,000株
自己株式	91,800株
株主数	14,298名

大株主の状況（2015年6月30日現在）

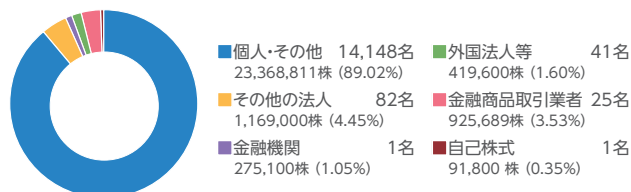
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
梶本 修身	4,426,800	16.9
梶本 智子	2,798,000	10.6
梶本 佳孝	1,072,400	4.0
(株)GMS	893,600	3.4
井上 昌治	450,000	1.7
(株)SBI証券	426,300	1.6
梶本 さゆり	332,000	1.2
梶本 真里	332,000	1.2
日本証券金融(株)	275,100	1.0
五十嵐 聖一	263,800	1.0

役員一覧（2015年9月25日現在）

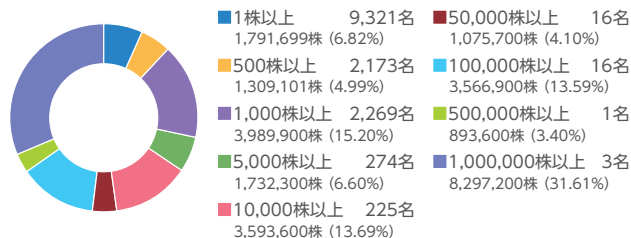
代表取締役社長	小 池 眞 也
取締役	梶 本 修 身
取締役	田 部 修
取締役	杉 野 友 啓
取締役	石 神 賢 太 郎
監査役	林 一 弘（常勤）
監査役	細 川 明 子
監査役	松 井 良 太

株式分布状況（2015年6月30日現在）

○所有者別



○所有株式数別



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
定時株主総会	9月中	住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年 6月30日 中間配当 毎年12月31日	特別口座管理機関 連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部 電話 0120-094-777(フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告 (公告掲載URL http://www.soiken.com/)		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		

株主優待のご案内

当社では、株主様からの日頃のご支援に感謝するとともに、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ること、および当社グループの事業へのご理解を賜ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

年1回(9月末頃)、毎年6月30日の株主名簿に記載または記録された株主様を対象として、株式会社ビービーラボラトリーズのお買物優待券および日本予防医薬株式会社のお買物優待券を贈呈いたします。

(株)ビービーラボラトリーズのお買物優待券		
優待内容	ご所有株式数 100株以上499株以下	20%割引券 1枚
	ご所有株式数 500株以上	40%割引券 1枚
ご利用申込期限	毎年12月31日まで	
ご利用対象商品	原則として全商品 ^{*1}	
ご利用上限金額	ご所有株式数 100株以上499株以下	お買物合計金額 21,600円 ^{*2} まで
	ご所有株式数 500株以上	お買物合計金額 32,400円 ^{*2} まで

(ご注意事項)

- ※1 雑貨やキャンペーン商品等、一部の商品は割引対象外となります。
- ※2 ご利用上限金額は、割引適用前のお買物合計金額を基準として適用します。
- ※3 お買物優待券は専用のお申込ハガキを兼ねたものとなっており、当該ハガキ以外の方法によるお申込み、またはご利用期限(消印有効)の後のお申込みは、お受け付けできません。
- ※4 代金のお支払方法はクレジットカードまたは代金引換のみとなります。
- ※5 商品の送料およびハガキの郵送料は当社側が負担いたします。

日本予防医薬(株)のお買物優待券		
ご所有株式数100株以上の株主様を対象として、次の内容のお買物優待券を贈呈いたします。		
イミダペプチド(ドリンク)・ 同うめ風味(ドリンク)各30本入	定 価	1個 7,500円(税込)を 株主優待価格 1個 6,000円(税込)
イミダペプチドソフトカプセル 120粒入	定 価	1個 7,500円(税込)を 株主優待価格 1個 6,000円(税込)
イミダペプチドプレミアム 120粒入	定 価	1個 9,450円(税込)を 株主優待価格 1個 7,950円(税込)

(ご注意事項)

- ※1 お買物優待券は専用の申込書を兼ねた形となっており、当該申込書の郵送以外の方法によるお申込みはお受け付けできません。なお、ご利用申込期限はありません。
- ※2 お申込みは合計で4個までとなります。
- ※3 個数にかかわらず、商品の送料として、全国一律300円を購入者にご負担いただきます。なお、申込書の郵送料は当社側が負担いたします。



株式会社 総医研ホールディングス
<http://www.soiken.com/>

